

主題名 「誰もが参画できる社会に」 (第2学年 C-12 社会参画、公共の精神)

■本事例のポイント

- 机間指導の際に生徒の言葉を積極的に拾い板書することで、多面的・多角的な視点から社会参画について考えられるようにした。
- 各グループにファシリテート役の生徒を配置し、「問い合わせ返しシート（次ページ参照）」を活用することで、生徒が主体的に議論を深める自走型の授業を目指した。

■ユニット学習の目標

誰もが生きやすい社会をつくるために、あなたはどうすればよいだろう？

* ユニット学習…テーマに基づいた複数の価値を関連付けて、複数時間で小単元化して構成する授業方法

■ユニット学習の指導計画（2時間）

第1時 「OriHimeがつなぐ世界」

- 授業前に事前範読を行っておき、話合いの時間を確保する。
- 導入：教材理解を深めるためにアドジャントークを行う。大テーマを提示する。
- 展開：グループごとに問い合わせを設定し、生徒同士で意見交流をしながら考えを深める。
- 終末：話合いの様子を踏まえ、全体共有をしながらまとめを行う。

第2時 「OriHimeがつなぐ世界」

- 導入：前時のフィードバックを行い、アドジャントーク、動画視聴をする。
- 展開：グループごとに問い合わせを設定し、問い合わせを通して考えを深める。
- 終末：教師の介入を通して再び大テーマに迫り、振り返りを行う。

■本時の概要

グループの問い合わせ
社会に通用するために自分には何ができるのだろう
不安や孤独はどうやったら解消されるのだろう 社会（学校生活など）に関わる中で、私がみんなのためにできることはなんだろう？
一人ひとりが、自分の孤独や不安を解消するためには何をすれば良いのだろうか。 社会（学校生活など）私が生きづらさを感じる理由とは？

導入

- 前時のフィードバックを行う。
- 内容項目に関する身近な出来事についてアドジャントークを行う。
- 教材に出てくる登場人物が出演する動画を視聴し、障害をもつ人が精一杯、社会参画しようとする姿から問題意識をもたせる。

グループごとに生徒が話し合い、課題を決定することで、全員が問い合わせについて考える意欲をもつことができます。

グループでの問い合わせを設定する際の深掘りポイント

- 社会の中の自分のために
- 社会の中の皆のために

この視点を大切にしながら問い合わせを考えよう。

展開①

- グループで問い合わせをつくる。
- つくった問い合わせについて個人で考えた後、グループごとに話し合う。
- * 問合わせをつくる際、教師は問い合わせの視点を提示しておく。
- * 新たな視点を得る問い合わせにするために問い合わせシートを活用する。

展開②

- 社会参画について、多面的・多角的な視点から考える。
- * 机間指導の際に生徒の言葉を積極的に拾い、板書しておく。
- 各グループがどのような問い合わせをもつたか全体共有する。
- * 教師がファシリテートしながら内容項目に迫る。

29 33 OriHime がつなぐ世界

大テーマ 誰もが生きやすく、社会をつくるために
本時テーマ 人の孤独や不安などから向かい合って、どう向き合っていく？
②孤独を感じたら自分から寄り添う
③人に気遣いすぎて、つかれてしまう？
→自分が今度気遣われるのは側にならへん！
①自分の考えとは、かけ離れる
→普通人は？
→少しでもいいから仲良くなれてみたい

グループの問い合わせ

社会に通用するために自分には何ができるのだろう
不安や孤独はどうやったら解消されるのだろう 社会（学校生活など）に関わる中で、私がみんなのためにできることはなんだろう？
一人ひとりが、自分の孤独や不安を解消するためには何をすれば良いのだろうか。 社会（学校生活など）私が生きづらさを感じる理由とは？

■学習調整をしている子供の姿

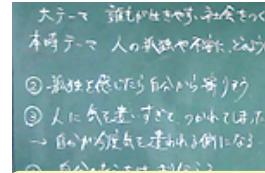
番号	グループ	グループの問い合わせ
①		社会に通用するために自分には何ができるのだろう
②		不安や孤独はどうやったら解消されるのだろう 社会（学校生活など）に関わる中で、私がみんなのためにできることはなんだろう？
③		一人ひとりが、自分の孤独や不安を解消するためには何をすれば良いのだろうか。
④		社会（学校生活など）私が生きづらさを感じる理由とは？
⑤		



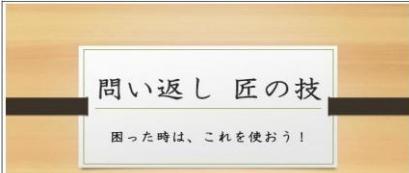
個人で追求し、
自分の意見をもつ。



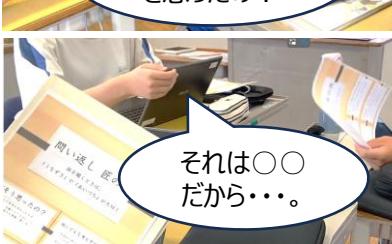
グループで対話し、
考えを深める。



他グループの考え方
から視点を広げる。

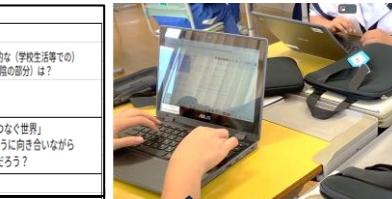


なぜそう思ったの？	他にどんな考え方があると思う？
・根拠を用ひたときには間違えられます。 ・根拠開くことで、大体だけではつかない。その人の考え方や熱意、持論を理解し更にうなづかせます。	・多角的な視点や別の可能性を考えることができます。 ・自分が意見を述べたので、仲間の意見を開いてみる時にも使えるですね。
もし～だったら？	それは、どういうこと？
・根拠を用ひたときに、間違えられます。 ・根拠開くことで、大体だけではつかない。その人の考え方や熱意、持論を理解し更にうなづかせます。	・「もし、～なら、～がない状態がいいんだよ」 ・根拠を引き、変換することで、新たな考え方や結果が生まれます。



*「問い合わせ 匠の技シート」…話合いの活性化を目指して学校で取り組んでいる問い合わせの例をまとめたシート

大テーマ「誰もが生きやすい社会をつくるために、あなたはどうすればよいだろう？」 2年 氏名 _____	
学習前「誰もが生きやすい社会をつくるために、あなたはどうすればよいだろう？」	
あなたが抱える社会的な（学校生活等での）生きづらさ（箇の部分）は？	
9/25（木）33 「OrHimeがつなぐ世界」 テーマ：OrHime認証について考えよう	9/29（月）33 「OrHimeがつなぐ世界」 テーマ：人の根拠や不安に、どのように向き合っているか 社会と関わればよいのだろう？
【グループでの声の設定】	【グループの声の設定】
学習後「誰もが生きやすい社会をつくるために、あなたはどうすればよいだろう？」	



社会参画のために今できる
ことは人とコミュニケーションを
取ったり、ルールを守ったり…。

■指導と評価の工夫

①共有方法

- * グループで考えた問い合わせ全体に共有することで、他者の視点や活動の様子を知ることができ、学びの広がりを生むことができる。
- * クラウド上で全員のワークシートを一覧表示し、個々の考え方可視化することで、相互理解を深め、対話の質を高めることができる。
- * 教師が各グループの対話からキーワードを抽出し、黒板に整理することで、思考の広がりを促すことができる。
- * 教師が学習の進捗を見取り、全体で議論すべき問い合わせを投げかけることで、学びをつなぎ、深めることができる。

②生徒の主体的な学びを支える支援

- * 深掘りポイントを提示し、問い合わせの視点をもたせる。
- * 問いづくりが難しい場合には、教師が準備した問い合わせを選択することで学びの停滞を防ぎ、議論を円滑に進める。
- * 「問い合わせ 匠の技シート」を活用することで、生徒同士の対話が深まり、議論の質の向上につながる。

③ワークシートの工夫

- * ユニット全体の学習を1枚のワークシートに集約することで、教師は指導の効果を把握しやすくなり、生徒も学びの成長を実感することができる。

■成果（○）と課題（▲）

○生徒自身で考えて問い合わせ立てることが、自分たちの答えを探そうとする原動力につながった。また、問い合わせを通して積極的に考え、議論が活性化する姿が見られた。

▲関連項目の「友情・信頼」に焦点が当たる展開になりかねないので、内容項目に迫れている生徒を取り上げ共有するなど、教師の支援が必要である。